慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	X thing構文の引用機能と心的態度の非共有を示す機能
Sub Title	Two functions of the X thing construction : quotation and distancing
Author	平沢, 慎也(Hirasawa, Shin'ya)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2021
Jtitle	教養論叢 (Kyoyo-ronso). No.142 (2021. 2) ,p.145- 189
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小屋逸樹先生・小瀬村誠治先生・ロバート・ギブソン先生退職記念特集号 論説
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062752-00000142-0145

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

X thing 構文の引用機能と心的態度の非共有を示す機能

平　沢　慎　也

1．はじめに

英語には X thing 構文（定義は 2 節を参照）とでも呼ぶべき名詞表現がある。以下はその用例である。

（1）［**状況説明**］Paul と Cate の娘である Bridget は恋人 Kyle と別れたばかり。

Paul: Well, honey, what did you expect, that he'd pine for you the rest of his life and die alone?

Bridget: Uh-huh.

Cate: It's a **girl thing**. （*8 Simple Rules*, Season 1, Episode 16）

Paul: お前，何を期待してたんだよ。Kyle は一生お前のことを求めて嘆き続けて，一生独り身だとでも？

Bridget: うん。

Cate: 女の子ってそういうとこあるのよ。

（2） Stephanie: So where are you headed?

Carl: I'm meeting my girlfriend here. We don't know where we're going.

Stephanie: Really?

Carl: Yeah, we're just gonna pick a place. Kind of an **eenie, meenie, minie thing**. （映画 *Yes Man*）

Stephanie: で，どこに行くの？

Carl:　恋人と待ち合わせしてるんだ。行き先は決めてない。

Stephanie:　そうなの。

Carl:　うん，これから選ぶ。「どちらにしようか神様の言う通り」的なやつで。

(3)　［**状況説明**］妻が「来客を泊める部屋にマイクを仕掛けて盗聴しよう」と言い出したので夫は動揺している。

'You don't honestly want to do this **microphone thing**, do you?'

'But of course I do. […]'　(Roald Dahl, "My Lady Love, My Dove")

「マイクをこっそり…なんて本気でやりたいと思っているわけではないんだろう？」

「本気に決まってるじゃない。[…]」

(4)　［**状況説明**］Sheldon はレストランでアップルの共同設立者の 1 人 Stephen Wozniak を見つけ，挨拶をしに行く。なお，同じくアップルの共同設立者の 1 人である Steve Jobs は，タートルネックをよく着ていたことで有名。

Sheldon:　I just want to say I'm a big fan. You're my fifteenth favorite technological visionary.

Wozniak:　Only 15th?

Sheldon:　It's still six spots above Steve Jobs. I care neither for turtlenecks nor showmanship.

Wozniak:　Yeah, I never got that **turtleneck thing**.

(*The Big Bang Theory*, Season 4, Episode 2)

Sheldon:　僕，大ファンなので，どうしてもそれを伝えたくて。科学技術の未来を切り開いていく人たちのなかで 15 番目に好きなんです。

Wozniak:　上に 14 人も？

Sheldon:　それでも Steve Jobs よりも 6 位上ですよ。タートルネックもエンタメ性も興味ないんで。

Wozniak:　確かに俺もタートルネックの何がそんなに良いのか全然

分からなかった。

(5)［**状況説明**］D.J. は，学芸会で披露したプリンセス役が好評だったので，自宅でも再現する。それが終わって家族から拍手を浴びたところで次のように言う。

This **acting thing** is so cool.　（*Full House*, Season 1, Episode 13）

この演劇とかいうやつ，めっちゃ楽しいんだけど。

(6)［**状況説明**］Michelle を幼稚園に連れて行った Jesse が，幼稚園ではまともな教育がなされていないと判断し，Michelle を連れて帰ってくる。帰宅後に Michelle の父親 Danny にそのことを報告している場面。

She didn't actually quit. I kind of pulled her out of there. Danny, this **preschool thing** is way overrated.　（*Full House*, Season 4, Episode 6）

いや，Michelle が幼稚園をやめたっていうより，俺が Michelle を引っ張って帰ってきたんだよ。Danny，幼稚園とかいうやつさあ，世間で言われてるほど良いもんじゃねえぞ，全然。

X thing 構文は名詞＋名詞の複合語の一種であると言ってほぼ間違いないだろう。筆者はこの X thing 構文の使用の全体像を記述する試みを 2 年ほど前から続けているが，その実態はあまりに多様であり，どのように整理するのが最善であるか，未だ答えは見いだせていない。

しかし，少なくとも現時点においてこれだけは間違いないであろうと思われる点で，かつ先行研究において見落とされている点が 2 つある。1 つは，X thing 構文の指示対象が X それ自体である場合があるという点である。もう 1 つは，X thing 構文の使用パターンに引用用法と遠化用法（遠化というのは後に定義する本稿独自の用語である），さらにその二者の両方にまたがる用法があり，これら 3 つの用法からなる連続体が X thing 構文の使用のかなりの部分を占めているということである。本稿はこれら 2 つのアイデアをできる限り分かりやすく提案することを目標とする。

以降の本稿の構造は以下の通り。まず，2 節では本稿における X thing 構文の定義を述べる。3 節では，X thing 構文に関連する先行研究の記述を紹介す

る。4 節では X thing 構文の指示対象について論じる（特に，X thing 構文の指示対象が X それ自体であるケースがあることを指摘する）。5 節では，引用という概念を明確に定義したうえで，X thing 構文の引用用法を記述する。6 節では，遠化という概念を明確に定義したうえで，X thing 構文の遠化用法を記述する。7 節では，X thing 構文の実例には引用用法の事例でもありかつ遠化用法の事例でもあるもの――引用 & 遠化用法の事例とでも呼ぶべきもの――が数多く存在し，X thing 構文の使用例のかなりの部分が 3 用法の連続体によりカバーされることを指摘する。8 節は結語にあて，残された課題について述べる。

2．X thing 構文の定義

本節では筆者が X thing 構文と呼ぶものの定義を述べる。ある語の連なりが X thing 構文の事例であるかどうかに関して筆者と読者が異なる判断を下してしまうのを防ぐことが目的である。

まず，X thing 構文は［名詞 + 名詞］タイプの複合語の一種であると明言しておきたい。ここには 2 つのポイントがある。

1 つ目のポイントは，X thing 構文の X スロットを埋める要素の品詞は名詞だということである。たとえば（3）の microphone thing であれば X スロットを埋めている要素は microphone でありこれは名詞である。ただし，5 節の議論の先取りになるので詳細は割愛するが，X スロットを埋める「名詞」には，形容詞や間投詞，節など本来的には名詞以外の文法カテゴリーに属するはずのものが名詞化したものも含まれる（たとえば（2）の eenie, meenie, minie thing の eenie, meenie, minie は少なくとも microphone と同じ意味で名詞だとは言えないだろう）。

2 つ目のポイントは，X thing 構文の事例の自然な読み方は thing の方ではなく X の方にストレスを置く読み方だということである。たとえば（3）の microphone thing は MICROPHONE thing と読まれる（microphone THING ではない）。

次に，限定詞の扱いについても筆者の立場を明らかにしておく。筆者が X thing 構文と言うとき，そこに a/an や the，this といった限定詞は含めていな

い。たとえば this marriage thing の marriage thing の部分は X thing 構文の事例であるが，限定詞 this はここに含めない。なお，形容詞が現れる場合もその形容詞は X thing 構文の範囲から除外する。たとえば this whole marriage thing の marriage thing の部分は X thing 構文の事例であるが，（限定詞 this と）形容詞 whole はここに含めない。

「構文」（construction）という言葉の使い方についても一言断りが必要だろう。この用語は研究者によって様々な意味で用いられており，しばしば明確な定義なく用いられ混乱の元になっている（Taylor 2012: 124-127）が，本稿における構文は形式と意味の慣習的な結びつきを指す（なお，本稿では英語という音声言語を問題にしているので，「形式」は「音韻構造」といってもよい）。このとき，語彙と文法から予測できない意味を持っているかどうか――言ってみればイディオム的かどうか――は問題にしない。たとえば have no way of knowing X「X なんて知りようがない」は have, no, way, of, know という語彙項目の知識および SVO や動名詞といった文法項目の知識さえあれば予測可能な意味しか持っていないため，イディオム性はおそらくほぼゼロであるが，have no way of knowing X は非常に高い頻度で用いられる言い回しであり，形式と意味の慣習的な結びつきであると言えるので，本稿の用語法では立派な構文だということになる。これと同じように，筆者が X thing 構文という言い方をするとき，イディオム性については何も言っていないということ（より具体的には「X thing 構文は語彙項目 thing の意味と［名詞＋名詞］の複合語の仕組みから予測できない意味を持っている」とは言っていないということ）に注意されたい。

X thing 構文の定義をまとめよう。筆者にとっての［X thing］構文は X にストレスを置いた［名詞＋名詞］の複合語の一種である。限定詞（および形容詞）が［X thing］構文の前に現れたとき，その限定詞（および形容詞）は［X thing］構文に含めない。いわゆる「イディオム性」の高低は［X thing］構文の定義に関わらないものとする。

3．先行研究

本節では Hohenhaus（2000）と Salmon（2015）という 2 つの先行研究を紹介する。ただし，先行研究とは言っても以下に見る通り，筆者が X thing 構文として取り出している範囲と全く同じ範囲を扱っているわけではないので，その点には注意を要する。

3.1. Hohenhaus（2000）

3.1.1. Hohenhaus（2000）の概要

Hohenhaus（2000）はダミー複合語（dummy-compound）の研究である。ここで指摘されているダミー複合語の定義・特徴の一部を以下に抜粋する。

（7）　［先行文脈に登場した名詞 + {thing, business, etc.}］という形式を取る。{thing, business, etc.} が複合語の主要部（head）である。
（8）　限定詞は the, this, that である。
（9）　主要部（たとえば thing）の意味がその名詞の第一義ではなく（たとえば thing なら「物理的な物体」の意ではなく），it や something のような抽象的で広い意味である。
（10）　主要部に thing, business, etc. のどれを選んでも複合語全体の指示対象に変化が生じない（たとえば the *Evening Post business* と言っても the *Evening Post thing* と言っても指示対象は同じである）。

ダミー複合語の下位分類には以下のようなものがあるという。

（11）　第一種ダミー複合語（primary dummy-compounds）
・{thing, business}（e.g. the **Evening Post thing**）
（12）　第二種ダミー複合語（secondary dummy-compounds）
——軽蔑的ダミー複合語
・{stuff, crap, nonsense, rubbish, shit, bollocks, etc.}（e.g. this **Thomas**

nonsense）

――人称ダイクシス的ダミー複合語

・{fellow, character, chap, git, etc.}（e.g. this **Dempsey character, this Caton fellow**）

第一種と第二種の違いは，「軽蔑的」「人称ダイクシス的」という特徴があるかどうかである。まず「軽蔑的」の方を見てみよう。ダミー複合語の主要部に stuff や crap を選ぶと（つまり X stuff や X crap と言うと）批判的・軽蔑的（derogatory）になるが，thing を選ぶと中立的（neutral）になると Hohenhaus は考える（pp.252-253）。たとえば vacation crap「休みがどうのこうのっていうたわごと」と言うとその話を（くだらないなどと）否定的に捉えていることになるのに対して，第一種ダミー複合語を用いて vacation thing と言うと長期休暇の話への肯定的な捉え方も否定的な捉え方も示唆しない，ということである。次に，「人称ダイクシス的」なダミー複合語の方は人間を指す。たとえば this Caton fellow は「そのケイトンとかいうやつ」の意で，ケイトンという名前の人間を指す。これが軽蔑的に響くかどうかについて，Hohenhaus は一概に決められないとしながらも，Caton とだけ言えば純粋な指示は達成されるのにわざわざ this Caton fellow のような言い方をする場合には何かしらの感情的な理由があるのだろうと述べている。

Hohenhaus は，このような特徴を持つダミー複合語の一種である X thing について，例文（13）を挙げつつ，X thing は一般に ‘What has been said above/earlier involving X’「さっきの X の話」とパラフレーズできるかもしれないと指摘している（p.245）。

（13）（*The whole family, Willy, Kate, Lynn, Brian, and Alf are having dinner*）
Willy: ‘[…] I want to talk about what we’re going to do on our vacation. […] We decided that we should all stay right here.’ […*the conversation digresses*…] Willy: ‘Let’s just go back to this **vacation thing**, right?’ Lynn: ‘Yeah. I think we should talk about it. How come we’re not going anywhere?’

（Hohenhaus 2000: 244）

（*家族みんな――Willy，Kate，Lynn，Brian，Alf――が夕食をとっている*）
Willy：「[…] 今度の休みに何するか決めようよ。[…] みんなで家にいようって話にはなってたけどさあ」[*…会話が脱線…*] Willy：「もう一回さっきの休みの話に戻ろうよ」Lynn：「そうだね。その方がいいね。どこにも行かないっていうのは一体なんでなんだっけ？」

なお，'What has been said above/earlier involving X' というパラフレーズが X thing 以外のダミー複合語にも成り立つと考えているのかは，明言されていないので分からない。

3.1.2. Hohenhaus（2000）と本稿の X thing 構文分析の関係

ここでは Hohenhaus（2000）と本稿の X thing 構文分析との関係について述べる。

まず，分析の対象となる言語現象の取り出し方が異なっている点に注意が必要である。（7）にあるように，Hohenhaus は thing 以外のものを主要部とするものも含めてダミー複合語という概念を定義している。この点で Hohenhaus は本稿よりも広い言語現象を分析の対象としていると言える。一方で，（8）にあるように Hohenhaus は一部の限定詞と結合するもののみを分析対象とする。この点では Hohenhaus の方が狭い領域を分析対象としていると言える。筆者の X thing 構文の定義では限定詞の種類を一部のものに限るということをしていない。

次に，（9）と（10）から，Hohenhaus は X thing が物理的な物体を指しているケースは存在しないと考えているか，またはそのようなケースは存在するにしても分析の対象外としているのだと考えられる（このどちらなのかは明言されていないので分からない）。言語事実としてはそのようなケースは確実に存在すると言える。たとえば，ツイッターやインスタグラムなどの SNS では，ペットが（人間ならば当然のものとして受け入れているであろう）物体を不思議がっている写真をあげて，be not（so）sure about this X thing という言葉を添えること

が慣習化しつつある（もしくはすでに慣習化している）。

（14）　She's not so sure about this **rain thing**.

（https://twitter.com/SaraMcSorley/status/1114557981583003648）

うちのわんちゃん，「この雨ってやつ，何？」って顔してる。

（15）　Caesar meeting Tiger...not so sure about this **cat thing**.

（https://twitter.com/christaka3/status/1085737002945765376）

うちのわんこの Caesar ちゃんが，にゃんこの Tiger ちゃんとご対面……なんだけど「この猫とかいう奴，何者？」みたいな顔してる。

（14）の rain thing は人間が rain と呼ぶ物体を，（15）の cat thing は人間が cat と呼ぶ物体（生命体）を指している。次節の先取りになるが，Salmon（2015）が挙げる例文も見てみよう。

（16）　［holding up my freshly defended dissertation in linguistics］I just defended **this dissertation thing**.　（Salmon 2015: 460）

［審査に合格したばかりの言語学の博士論文を掲げて］なんかこの博士論文とかいうやつ通ったんだけど。

ここでは dissertation thing が defend の目的語の位置にある。そして，英語では，学術的な場面・文脈で defend … dissertation という表現が頻繁に用いられる。この 2 つの言語事実を考え合わせると，（16）の dissertation thing の指示対象は人々が dissertation と呼ぶものだと考えられる。このため（16）も（14），（15）と同様に X thing が物理的な物体を指すケースの一例だと言えるかもしれない（「かもしれない」としたのは，defend する対象としての dissertation が指しているのは本当に物理的な物体なのかという点に関して議論の余地があるからである）。筆者の X thing 構文分析では，こうしたケースも研究対象となる。

さらに，（14），（15）および先取りで言及した（16）で見た通り X thing が「人間・人々が X と呼ぶもの」の意味になりえるということから言えることが

もう一つある。それは，X thing の指示対象と X の指示対象が一致しうるということである（詳細は 4 節）。これは，X thing が常に ‘What has been said above/earlier involving X’ とパラフレーズできるわけではないということを示しており，Hohenhaus の指摘（p.245）に対する反例となる。

このことと関連して，Hohenhaus 自身が自らの指摘の重要な意義を見落としているように思われるということを述べておきたい。Hohenhaus は，（12）の「人称ダイクシス的ダミー複合語」に関して，たとえば this Caton fellow を例に取るならば，Caton とだけ言えば純粋な指示は達成されると指摘している。これは，Caton fellow という複合語の指示対象とその前部要素である Caton の指示対象が一致するということである。この点で「人称ダイクシス的ダミー複合語」は X thing の指示対象と X の指示対象が一致するケースと平行的であると言える。Hohenhaus はこの平行性に気がついていないようである（もしそうだとしたら，その原因は，X thing の指示対象と X の指示対象が一致するケースを排除しているか，そのようなケースの存在に気がついていないためであろう）。

3.2. Salmon（2015）

3.2.1. Salmon（2015）の概要

Salmon（2015）は，［determiner + （modifier[s]） + N + （modifier[s]） + {*thing, stuff, shit,* etc.}］という形式をとる構文を，TNT 構文と呼ぶ。1 つ目の T は this や that など一部の限定詞の頭文字の T，真ん中の N は Noun の N，2 つ目の T は thing の T である。

Salmon の主な主張は，TNT 構文は Langacker（1993）の言う参照点構造に基づいているということである（参照点構造とは，本当に指示したいものと異なる別のものをいったん参照点として介し，その上で本当に指示したいものを指示するという二段構えの指示のあり方のことで，たとえば John’s car や Mary’s mother など所有格の構文にも見られる）。より具体的には，よく知らないものやどのように呼んだらよいかが分からないものを指示したいときに，N を参照点として利用して，そのアクセスしにくいターゲットにアクセスすることを可能にするのが TNT 構文の慣習的な意味機能だということである。例文として次のものが挙げられて

いる。

（17）［**状況説明**］インターネット上で，Dillon298 という人があるゲームについてアドバイスをしている。Shadowmere はそのゲームに登場する馬のキャラクターの名前である。

Dillon298: After two weeks in-game time, Shadowmere will respawn in the place of death after she is killed. I saw a lot of people concerned with accidentally killing her, just thought I'd throw this tip out there.

DSTR: if **that shadowmere thing** works, that will be the best tip i have ever read.

ゲーム開始から 2 週間経つと，Shadowmere は死んだ後だけど，その死んだ場所で復活するよ。いや，「うっかり殺しちゃった」とかって心配する人よく見るからさ，アドバイスばらまいてあげようっかなあって思ったんだ。

Dillion298: その Shadowmere がなんちゃらって話の通りになったら，それマジで最強のアドバイスだわ。

ここでは，「ゲーム開始から 2 週間が経ったところで Shadowmere が復活する」という事象が，「よく知らないこと」に対応する。DSTR はこのよく知らないことにアクセスするために，よりよく知っておりアクセスしやすい Shadowmere というキャラクターを参照点として利用しているのだ，というのが Salmon の発想である。

この基本的な用法に反して，指示しにくくないはずのものを指示するのに TNT 構文を使うこともよくある。その場合には，一般化された会話の含意（generalized conversational implicature）により，指示対象への否定的な捉え方（disapproval）または距離（distance）が伝達されるという（p.444）。以下の例が挙げられている（なお，この例は 3.1.2 で先取りして例（16）として提示したものである）。

（18）　I just defended this dissertation thing.　　（Cf.（16））

博士論文の著者はその論文について誰よりもよく知っているはずであるにもかかわらず，その博士論文をまるで知らないもののように表現している。この矛盾（‘clash’）により，聞き手は「話し手は this dissertation thing の指示対象である博士論文から自らを遠ざけている（‘dissociating herself from the referent’）のだろう」と推論する。これが Salmon の考える解釈のシナリオである。

また，Salmon によれば，限定詞が this や that，定冠詞の場合には，不定冠詞の場合よりも否定的な含意（negative implicature）が強くなるという。その証拠として挙げられているのが，48 人の被験者を対象として行われたアンケート調査の結果である。被験者は，（19）の質問 Q に対する返答の候補となる 4 つ（A-a, A-b, A-c, A-d）に関して，「話し手がテレビで見たものを気に入らなかった可能性が一番高い返答はどれか」を答える。このアンケートの回答を集計すると（19）の右端のようになったという。

（19）　Q:　What’d you do last night?
A: a. I watched this Dallas Cowboys thing on TV.[1)]　（16 人）
b. I watched the Dallas Cowboys thing on TV.　（6 人）
c. I watched that Dallas Cowboys thing on TV.　（26 人）
d. I watched a Dallas Cowboys thing on TV.　（0 人）

この結果が示しているのは，「気に入らなかった可能性が一番高いもの」を選ぼうとすると，this, the, that という定の限定詞に偏るということである。この理由に関して，Salmon は，限定詞が持つ「既知，馴染み」の示唆と TNT 構文が持つ「指示の仕方が分からない」という示唆の間に矛盾（‘clash’）が発生すると，聞き手が「わざわざ TNT 構文を使うことには理由があるはずだ」と解釈するからだろう，と述べている（不定冠詞の場合にはこの矛盾が発生しない）。

Salmon はコーパスを使った分析も提示している。アメリカ英語コーパスである *The Corpus of Contemporary American English*（COCA）で {that * thing} を検索

して得られた例のうち（なお，* は任意の要素 1 つを検索するタグ）はじめの 100 例を母集団とすると 11 例が TNT 構文で，そのうちの 10 例に距離を置くような含意（distancing implicature）が見られたという。また，that を this に置き換えた {this * thing} では，はじめの 100 例中 32 例が TNT 構文の事例で，そのうち 29 例に距離を置くような含意（distancing implicature）が見られたという（除かれた 3 例は，否定的な含意（negative implicature）が見られない 1 例と，分類が難しい 2 例）。

Salmon の研究の紹介の最後に述べておかねばならないのが，Salmon は It's a girl thing; you wouldn't understand. のような it's a ____ thing パターンを TNT 構文とは別の構文と認識しているということである。前者は文であり後者は句であるというのが一番重要な違いで，さらに前者では定冠詞の使用が不可能になるという違いもあるとされている。

3.2.2. Salmon（2015）と本稿の X thing 構文分析の関係

ここでは Salmon（2015）と本稿の X thing 構文分析との関係について述べる。

まず Salmon は，Hohenhaus と同様，筆者とは異なる範囲の言語現象を分析対象として取り出している点に注意が必要である。Salmon の TNT 構文は，名称に thing（の頭文字）を含むものの，thing を主要部とするものに限られない。これに対して本稿の X thing 構文は thing を主要部とするものに限られる。また，TNT 構文は限定詞を含むが，X thing 構文は限定詞を含まない。

次に Salmon は，Hohenhaus と同様，TNT 構文の指示対象と N の指示対象が一致することがあるという点について言及していない。例文として（18）をあげてはいるが，dissertation thing と dissertation の指示対象が一致するということを明示的に述べていない。これを明示しないのは言語事実の観察という点で問題になるが，かといって明示すると Salmon にとっては理論上の問題を引き起こすことになる。というのも，Salmon は TNT 構文のすべての使用例に関して Langacker の参照点構造がかかわっていると考えているようであるが，Langacker の参照点構造では参照点として利用される概念と最終的な指示のターゲットとなる概念は別物であるのが原則だからである（たとえば John's car で

は John という概念と car という概念は別物である）。このような理論的問題が発生してしまうからなのかは定かではないが，Salmon が TNT 構文の指示対象と N の指示対象が一致しうることについての言及はない。これに対して筆者は，X thing 構文の指示対象と X の指示対象が一致しうることを積極的に認める（詳細は 4 節）。

また，Salmon は条件が整えば TNT 構文に distancing implicature が生じるとしているが，この distancing という言葉を明確に定義していない。論文中で negative implicature という言葉に言い換えられているように見受けられるが，negative という見慣れた形容詞を用いたところで，何をもって negative とするかを明示する必要から逃れられるわけではないだろう。ひょっとしたら，distancing や negative という言葉が術語としてではなく日常語として用いられているのかもしれないが，そうだとしたらまた別の問題が生じる。筆者が収集している実例の中には，日常的な意味での distancing は感じられるけれども日常的な意味での negative にはとても該当しないであろうものが結構な数あるのである。たとえば（5）の this acting thing「この演劇とかいうやつ」は，「演劇というものは，自分以外の人々一般にとっては馴染み深いものかもしれないけれども，自分にとってはこれまで完全に未知のものだった」という含みを強く持つので，distancing implicature を持っていると言えるはずであるが，ここに negative implicature を読み込むのは無理がある（くれぐれも distancing や negative を日常的な意味で解釈するならばの話であることに注意されたい）。筆者の X thing 構文分析では，distancing（本稿の用語では「遠化」）という言葉を明確に定義した上で，X thing 構文との関連を論じる（詳細は 6 節）。

最後に，Salmon は TNT 構文の限定詞スロットを不定冠詞が埋める可能性を排除しないものの，it's a ____ thing パターンを TNT 構文の事例とは見なさない。その理由を「前者は文であり後者は句であるから」としているが，筆者にはどうしてそれが前者が後者の事例でないことの理由になるのかが分からない。本稿の X thing 構文分析では，it's a ____ thing パターンが X thing 構文の事例である可能性を排除しない。

4．X thing 構文の指示対象

4 節以降では，X thing 構文に関する筆者の分析を提示する。まず本節では，X thing 構文の指示対象について論じる。より具体的には，X thing 構文の指示対象が X の指示対象と一致する場合があることを（3 節でも触れたが）例を追加しつつ再度指摘し（4.1），ここで言う「指示対象が一致する」とはどういうことかを明確化する（4.2）。

4.1. X thing 構文の指示対象が X の指示対象と一致するケースの存在

X thing 構文が X を参照点として利用しながら X 以外のものを指すことはとても多い。だからこそ Salmon（2015）は TNT 構文一般を Langacker の参照点構造の観点から分析しようとしたのである。しかし実際には，3 節ですでに述べたように，X thing と X の指示対象が一致する場合がある。本稿ですでに提示した例文のうち以下のものはそのようなケースに該当する。

（20）　This **acting thing** is so cool.　（Cf.（5））

（21）　She didn't actually quit. I kind of pulled her out of there. Danny, this **preschool thing** is way overrated.　（Cf.（6））

（22）　She's not so sure about this **rain thing**.　（Cf.（14））

（23）　Caesar meeting Tiger...not so sure about this **cat thing**.　（Cf.（15））

（24）　I just defended this **dissertation thing**.　（Cf.（16））

さらに類例を追加しよう。

（25）　［**状況説明**］クラスの「ワル」代表の Luke が，演奏会でペアを組むことになった，気になる女子に次のように言う。

Hey, so should we practice after school and stuff? Cause the **performance thing** is on friday so...

（https://www.wattpad.com/408857682-all-angels-have-a-dark-side-luke-hemmings-

chapter; 2020 年 8 月 26 日最終アクセス）

あのさ，俺ら練習しとく？　放課後とか？　演奏会とかいうやつ，金曜っしょ？　だから…

（26）I figured he must be on the other bus, but then I overheard Miles tell Amos that Julian ditched the grade trip because he thought the whole **nature-retreat thing** was, quote unquote, dorky.　（R. J. Palacio, *Wonder*）

Julian はもう一つのバスに乗っているのだと思ったけれど，Miles が Amos に Julian は学年旅行をサボったのだと言っているのを聞いてしまった。なんでも，修学旅行で自然に飛び込もう的なやつは「ださい」んだとか。

（25）の performance thing の指示対象は performance の指示対象と一致し，（26）の nature-retreat thing の指示対象は nature-retreat（喧騒を離れて自然の中で過ごすこと）の指示対象と一致する。

4.2. X thing 構文の指示対象が X の指示対象と一致するとはどういうことか

ここで注意しなくてはならないのが，X thing 構文の指示対象が X の指示対象と一致する場合であっても，必ずしも X thing と X が交換可能である（交換してもほぼ同じ意味の正しい文として成り立つ）わけではないということである。確かに交換可能な場合もある。たとえば，（24）の dissertation thing を dissertation に，また（25）の performance thing を performance に置き換えてもほぼ同じ意味の正しい文として成り立つ。

（27）a. I just defended this **dissertation thing**.　（Cf.（24））

b. I just defended this **dissertation**.

（28）a. Hey, so should we practice after school and stuff? Cause the **performance thing** is on friday so...　（Cf.（25））

b. Hey, so should we practice after school and stuff? Cause the **performance** is on friday so...

しかし，X thing と X が交換不可能である（交換すると意味が大きく変わってしまう）場合もある。たとえば（20）や（21），（22）のような場合である。以下の a を b のように書き換えると意味が変わってしまう（# の記号はここでは「a とは異なる意味」の意）。

（29）　a. This **acting thing** is so cool.（Cf.（20））
　　b. #This **acting** is so cool.
（30）　a. Danny, this **preschool thing** is way overrated.　（Cf.（21））
　　b. #Danny, this **preschool** is way overrated.
（31）　a. She's not so sure about this **rain thing**.（Cf.（22））
　　b. #She's not so sure about this **rain**.

（29b）は「演劇の一例であるこの演劇は…」，（30b）は「幼稚園の一例であるこの幼稚園は…」，（31b）は「雨の一例であるこの雨について…」の意味（トークン的意味）を表しており，対応する a のバージョンが表す「この演劇というものは…」「この幼稚園というものは…」「この雨というものを…」（タイプ的意味）の意味を表していない。

トークンとタイプの観点からもう少し詳しく整理すると以下のようになる。限定詞 this をつけない acting，preschool，rain はタイプとしての演劇，幼稚園，雨（演劇というもの，幼稚園というもの，雨というもの）を指す。ここに限定詞 this をつけた this acting，this preschool，this rain はトークンとしての演劇，幼稚園，雨を表す（タイプ解釈は原則として不可能）。acting thing，preschool thing，rain thing は，限定詞 this をつけない状態ではタイプとしての演劇，幼稚園，雨を指す。ここまでは acting，preschool，rain の場合と変わらない。しかし，限定詞 this をつけると acting，preschool，rain の場合には（原則として）トークンを指すようになるのに対して，acting thing，preschool thing，rain thing は this をつけてもタイプ解釈を保つ。

このような事情があるので，筆者がある用例について「X thing 構文の指示対象が X の指示対象と一致している」と言った場合，限定詞を除いた X thing

の部分だけ（つまり X thing 構文のところだけ）を見れば X の指示対象たる概念と同じ概念を指していると言っているのであって，X thing と X が交換可能だと言っているわけではない。実際の用例のなかで X thing と X を交換してしまうと，そこに限定詞が加わった結果として文意が変わってしまうことがありえるのである（上の（29）–（31）で見たように）。以下の議論ではこの点にくれぐれも注意されたい。

またもう一点注意していただきたいのは，X thing と X の指示対象が一致している場合であっても，だからといって X thing と X の意味が完全に同じだということにはならないということである。指示対象とは意味の一部でしかない。たとえば同じ人間のことを A さんが「倹約家」と呼ぶのに対して B さんが「けちんぼ」と呼ぶということは十分にありえる。この場合，「倹約家」と「けちんぼ」は，指示対象は同じであるが意味が完全に同じであるとは言いにくい。指示対象への捉え方が明らかに異なっており，その捉え方の違いまで含めて「意味」と考えるのが妥当であろう。同じように，X thing と X も，たとえ指示対象が同じ場合であっても，何らかの捉え方の違いが関わっているはずである。次節では，X thing 構文と慣習的に結びついている捉え方（の一部）にスポットライトを当てたい。

5．X thing 構文の遠化用法

本節では，X thing 構文には distancing（遠化）が関わる用法が存在することを指摘する。すでに見たように distancing という言葉は Salmon（2015）では定義なく用いられているが，ここでは明確に定義を示す。筆者にとっての distancing（遠化）とは，話し手が他者（話し手以外の人または過去の話し手）の態度・心的状態（嫌いである，重要視している，身近に感じている，など）を共有していないと示すことである。具体的にどのようなケースが存在するか，以下で見ていく。

5.1. 遠化の様々なケース

5.1.1. X thing 構文が他者の態度・心的状態そのものを指すケース

まず X thing 構文の指示対象が他者の態度・心的状態であると解釈できる例を見てみよう。

(32)　［**状況説明**］Danny は，Vicky と別れてからというもの，おかしな言動を繰り返している。以下は Joey の発話：

［…］this **Vicky thing**'s really eating away at him.

（*Full House*, Season 7, Episode 14）

［…］Danny のやつ，Vicky のことで悩みすぎてマジでおかしくなってきてるみたいだな。

(33)　I've decided to get over that whole **"you saw me naked" thing**.

（映画 *Something's Gotta Give*）

「あんた，私の裸を見たわね，ムキー！」みたいなの，やめることにしたの。

(34)　［**状況説明**］新型コロナウイルスが蔓延し，世界が混乱している状況でのツイート。

For those that think this **pandemic thing** is an overreaction, my dad said something rlly smart today. He said "we aren't overreacting. We're acting. If we waited to react, it'd be too late. I'd rather be embarrassed later at an 'overreaction' than to be sorry we didn't act at all"

（https://twitter.com/MRipchik/status/1239447556368691205）

パンデミックだなんだって騒いでるこの状況が過剰反応だって思ってる人，ちょっと聞いて。パパが今日マジ良いこと言ってたから。「僕たちが起こしてるのは過剰反応じゃない。行動だ。反応するのを後回しにしてたら手遅れになってしまう。何も行動を起こさなかったことを後悔するくらいなら，後で「過剰反応だった」と恥ずかしい思いをする方がましだ」だって。

(35)　Yeah, I never got that **turtleneck thing**.　（Cf.（4））

（36）［**状況説明**］料理ブログ内の「ベイクドポテトを作るとき，じゃがいもにアルミホイルを巻いて皮までやわらかくしようとする人がいると，止めたくなる」という発言に対するコメント：

Haha yeah I never got the whole **“foil-wrapped” thing**… like, just boil the potato if you want it all soft?!　（https://cadryskitchen.com/air-fryer-baked-potato/）

ハハハ，確かに私もなんでみんな「アルミホイルで巻きましょう」とか言ってるのかずっと不思議でした。だって，皮までやわらかくしたいなら，（焼くんじゃなくて）茹でればよくないですか⁉

（37）［**状況説明**］Stephanie は，姉 D.J. や妹 Michelle と違って自分だけ大人たちに相手にしてもらえていないと感じて寂しくなり，友だちの Harry と庭で結婚式（ごっこ）をした。それなのに，Harry は「今日はミートローフの日だから」と言って新居探し（ごっこ）を断り自分の家に帰ってしまったので，Stephanie は落ち込んでいる。

Danny:　Stephanie, come here. You have to realize that sometimes your sisters are going to need our attention. But if you ever feel like you’re not getting your fair share, I want you to come and tell us about it.

Stephanie:　Really? I can do that?

Danny:　You better. Every time I get busy with something, I don’t want you to run off and get married.

Stephanie:　Me neither. I don’t know about this **husband thing**. One whiff of their mom’s meatloaf and they’re gone.

（*Full House,* Season 2, Episode 10）

Danny:　Stephanie，こっちにおいで。わかっておいてほしいんだけど，これから先，D.J. や Michelle にかまってあげないといけないときがある。でも，もし Stephanie が自分だけかまってもらえてないって思ったら，はっきりそう言ってほしい。

Stephanie:　ほんと？　いいの？

Danny:　むしろそうしてくれないと困る。僕が何かで忙しくなるたびに，駆け落ちして結婚されるのは嫌だからね。

Stephanie:　私も嫌だ。だいたいなんで世の中の女は夫が欲しいとかいって騒ぐのかしら。だって，ママのミートローフがふっと香っただけで，実家に帰っちゃうのよ。

（32）の Vicky thing は Danny が Vicky と別れたことを思い悩む気持ちを指すと解釈できる（ただし次の節で見るように異なる解釈も可能である）。（33）の “you saw me naked” thing は過去に裸を見られたときに受けたショック（またはそれを表出させた大騒ぎ）を指すと解釈できる（get over …は「…を忘れる」の意）。（34）の pandemic thing は新型コロナウイルスが蔓延していることに対して人々が抱いている恐怖（またはその表出としての大騒ぎ）を指すと解釈できる。（35）は Steve Jobs のタートルネック好きを指すと解釈できる（I never got …は「…は理解不能だった」の意）。（36）の “foil-wrapped” thing はアルミホイルで巻くのが良いのだという一部の人々が持っている好み（主義）を指すと解釈できる。（37）の husband thing は夫がいる状態を良いものだと考える好み（主義），または夫を求める願望（またはこうした態度・心的状態の表出としての所謂「婚活」）を指していると考えられる。話し手は X thing 構文を使うことでこうした悩み，ショック，恐怖，好み，主義，願望を自分が話し手が共有していないことを示している。，極端な言い方をすれば「小さなことで大げさに悩みすぎだ」とか「そんなに熱くなるなんて理解不能だ」とかいったことを示唆している。

5.1.2. X thing 構文が他者の態度・心的状態の原因を指すケース

次に，X thing 構文の指示対象が他者の態度や心的状態を引き起こす原因たる出来事であると解釈できる例を見てみよう。（38）–（41）では，X thing 構文が悩みや動揺，怒りの種となっている出来事や状況を指すのに用いられているという解釈が可能である。

（38）［…］this **Vicky thing**’s really eating away at him.　（Cf.（32））

（39）［**状況説明**］Jesse は，ロックバンド Jesse & Rippers から追い出されたうえ，Rippers が Barry という男と結成した新バンド Barry & Rippers が大ヒットを飛ばしていることを知って，しばらく落ち込み，悪夢にうなされるまでに至った。以下は目が覚めたあとの Jesse のセリフ：

I'm going to stop obsessing over this **Rippers thing**.

（*Full House*, Season 8, Episode 3）

Rippers のことで悩むのはやめにするよ。

（40）［**状況説明**］生まれてくる双子の名前について悩んでいる Jesse に D.J. が次のように言う。

Why are you so obsessed with this **name thing**?

（*Full House*, Season 5, Episode 6）

なんでそんなに名前のことばっかり考えてるの？

（41）［**状況説明**］Raj はこの会話の少し前に Howard に凧を奪われため，怒っている。

Raj:　Are you under the impression that we're still friends?

Howard:　Ugh. Come on, you're not still grinding on the **kite thing**, are you?

（*The Big Bang Theory*, Season 3, Episode 6）

Raj:　まだ友だちだとでも思ってんのか？

Howard:　まったく。いい加減にしてくれよ，まさかお前，まだ凧のことでぶうたれてんじゃないよな。

（38）の Vicky thing は Danny が Vicky と別れたことを指すと解釈できる（ただし，前の節で見た通り，Danny が Vicky と別れたことを思い悩む気持ちを指すという解釈も可能である）。この出来事が原因となって Danny は落ち込んでいるが，話し手はその気持ちを共有していないことを――極端に言えば「Danny は小さなことで落ち込みすぎだ」と思っていることを――X thing 構文の使用により示唆している。（39）の Rippers thing は Rippers が Barry という男と結成した新バンドが大ヒットを飛ばしていることを指すと解釈できる。この事態が原因となって過去の話し手は落ち込み，悪夢にうなされていた。しかし現在の話し手は過

去の自分との態度の共有をしておらず「実はそこまで落ち込むべきことではなかった」と感じている。そのことがX thing構文の使用により示唆される。（40）のname thingは双子の名前をどうするかという問題を指すと解釈できる。この問題が原因となって，聞き手のJesseは悩んでいる。話し手はX thing構文の使用により自分はその悩みを共有していない（そんなに頭を抱えるような問題ではないと思っている）ことを示唆している。（41）のkite thingはHowardがRajの凧を奪ったことを指すと解釈できる。この出来事が原因となってRajは現在怒っているが，その怒りをHowardは共有しておらず，そのくらいのことで怒るなんてくだらないと思っていることがX thingの構文の使用により示唆されている。

5.1.3. X thing構文が他者の好き好んで行う振る舞い・行為を指すケース

今度は，他者が好き好んで行っている（行った，行おうとしている）（ように見える）振る舞い・行為を指すのにX thing構文が用いられている例を見てみよう。以下の例では，「X thing構文が指している行為をしたくなる気持ちが私（話し手）には理解できない」という形でやはり態度の非共有が示唆されていると言える。

（42）［**状況説明**］宇宙飛行士のおもちゃであるBuzz Lightyearは，自分のことを（おもちゃではなく）本物の宇宙飛行士だと思っているため，宇宙飛行士らしい振る舞いをしている。それに対してカウボーイのおもちゃであるWoodyが次のように言う。

And another thing, stop with this **spaceman thing**. It's getting on my nerves.

（映画 *Toy Story*）

それからなあ，宇宙飛行士ごっこはもうやめにしてくれ。いらいらしてしょうがない。

（43）［**状況説明**］Dannyは，交際相手のVickyの口ぶりや行動がVickyの母親と似ていることに気付き，ショックを受けている。なお，Vickyの母親はhmmが口癖である。

Vicky:　Hmm.

Danny:　Oh, my God. You're, you're, you're doing that, that **"hmm" thing**.

Vicky:　What? What **"hmm" thing**?

Danny:　That **"hmm" thing**. And, oh, oh, look, now, now you're pacing.

Vicky:　What? What is wrong with pacing?

（*Full House*, Season 6, Episode 11）

Vicky:　ふーん。

Danny:　うわ，なんてこった。そ，そ，その「ふーん」ってやつ。

Vicky:　何よ，「「ふーん」ってやつ」って。

Danny:　その「ふーん」ってやつだよ。あ，こ，こんどは歩きまわり始めた。

Vicky:　なんなのよ！　歩きまわるのなんか普通でしょう！

(44)　［**状況説明**］自分のことをかっこいいと思っている男がしがちな行動をお笑い芸人の Joey が茶化している。

You know, whenever they recognize somebody, they always do that phony **gun-point thing**. It's like: ［GUN POINTING GESTURE］（*Full House*, Season 4, Episode 7）

そういう奴って，知り合いを見つけると決まってピストル向けるポーズするよね。こんな風に：［ピストルを向けるジェスチャーをしてみせる］

(45)　Danny:　Okay, Deej, what do you want, how much is it gonna cost me […]?

D.J.:　Well, there's this summer study program in Barcelona.

Danny:　No.

D.J.:　I'll get to live with a Spanish family.

Danny:　No.

D.J.:　I'll get to study the language and expand my horizons.

Danny:　No.

D.J.:　Doesn't that sound exciting?

Danny:　No.
D.J.:　So, you're not saying that I'm not allowed to not go, right?
Danny:　What did you just say?
D.J.:　I don't know, I just wanted to get you off that **"no" thing**.
（*Full House*, Season 5, Episode 25）
Danny:　で，D.J.，いったい何が欲しいんだ，いくらするんだ［…］？
D.J.:　あのね，バルセロナに留学できるサマープログラムがあってね。
Danny:　ダメだ。
D.J.:　スペイン人の家族のところに泊めてもらうことができてね。
Danny:　ダメだ。
D.J.:　スペイン語の勉強もできるし，視野も広がるし…
Danny:　ダメだ。
D.J.:　面白そうじゃない？
Danny:　ダメだ。
D.J.:　ってことは，行かないことが許されないって言ってるわけじゃないってことだよね？
Danny:　今なんて言ったの？
D.J.:　自分でもよくわかんないけど，ただ「ダメだ」ばっか言うのやめさせたくて。

（46）'You don't honestly want to do this **microphone thing**, do you?'　（Cf.（3））

（42）の spaceman thing は Buzz Lightyear が日頃からしている宇宙飛行士的な振る舞いを指すと解釈できる。（43）の "hmm" thing は，Vicky の母親がよくしている，hmm と発話する行為を指すと解釈できる。（44）の gun-point thing は自分のことをかっこいいと思っている男がよく行う，銃を向けるような動作を指すと解釈できる[2)]。（45）の "no" thing は，Danny が繰り返し行った，no と発話

する行為を指すと解釈できる。(46) の microphone thing は話し手の妻が行おうとしている盗聴行為を指すと解釈できる。これらの例の話し手は，こうした振る舞い・行為・動作をしたくなる人の気持ちが理解できない。この態度の非共有が X thing 構文により示唆されているのである。

5.1.4. X thing 構文が他者の重要視するものを指すケース

次に見る例では，X thing 構文の指示対象は他者が重要視したり価値を認めたりしているものである。これに対して話し手はその対象を重要なもの，価値あるものと思っていない。この態度の非共有が X thing 構文により示唆される。

(47) She didn't actually quit. I kind of pulled her out of there. Danny, this **preschool thing** is way overrated. (Cf. (6))

(48) I just defended this **dissertation thing**. (Cf. (16)

(49) I figured he must be on the other bus, but then I overheard Miles tell Amos that Julian ditched the grade trip because he thought the whole **nature-retreat thing** was, quote unquote, dorky. (Cf. (26))

(47) の preschool thing は幼稚園を指すと解釈でき，幼稚園は聞き手 (Danny) 含め世間の人々が重要と思っているものである。(48) の dissertation thing は博士論文を指すと解釈でき，一般には博士論文は重要なものとみなされている。(49) の nature-retreat thing は喧騒を離れて自然の中で過ごすことを指すと解釈でき，このイベントは重要なもの，価値あるものと思われている。しかしこれらの例の話し手は「何がそんなに重要なのか分からない，大騒ぎするようなことではない」と感じており，この態度の非共有が X thing 構文の使用により示唆されている。

5.1.5. X thing 構文が他者にとって身近なよく知っているものを指すケース

X thing 構文と結びつく「態度の非共有」が，指示対象をどのくらい身近に感じているか，どのくらいよく知っていると感じているかの感覚の非共有であ

る場合もある。以下の例を見てみよう。

（50）　This **acting thing** is so cool.　（Cf.（5））
（51）　She's not so sure about this **rain thing**.　（Cf.（14））
（52）　Caesar meeting Tiger...not so sure about this **cat thing**.　（Cf.（15））

（50）の acting thing は演劇を指していると考えられる。この演劇というものを世間の人々は身近に感じ，よく知っていると感じている。これに対して（50）の語り手・話し手は X thing 構文を用いることにより，演劇というものを（直接体験として）初めて知った，演劇というものが初めて自分の生活に入ってきたということを示唆している。（51）と（52）にあるような SNS 用法では，人間という他者が身近に感じよく知っている「雨」や「猫」といったものをペットはよく知らない，身近に感じていないということを示唆するのに X thing 構文が用いられている。

5.2. 見せかけの遠化

ここで注意しなければいけないのは，X thing 構文は態度の非共有を見せかけるために使用されることも多いという事実である。以下の例を見てほしい。

（53）［**状況設定**］Danny が婚約者 Vicky を「お姫様抱っこ」して家に入ってくる。そしてそのままの体勢でキスをしている。そこへ，既婚者である Jesse が入ってくる。

Jesse:　Hey, lovebirds. Get a cage[3].
Danny:　Hey, sorry.
Vicky:　Did you guys, uh, do this **threshold thing** when you were married?　（*Full House*, Season 7, Episode 9）
Jesse:　おい，そこのオシドリ夫婦。トリらしくトリかごに入れ。
Danny:　ああ，ごめん。

Vicky:　ジェ，ジェシーたちも，結婚したとき玄関のやつやった？

（54）Hey, so should we practice after school and stuff? Cause the **performance thing** is on friday so...　（Cf.（25））

（55）［**状況説明**］レースのエージェントがレーサーに，カリフォルニア州で行われる優勝決定戦のチケットについて説明している。

Listen, they're giving you 20 tickets for the **tiebreaker thing** in Cali. I'll pass them on to your friends. Shoot me the names.　（映画 *Cars*）

いいか，お前さんが受け取れるカリの決勝チケは 20 枚だ。渡したい友だちがいたら，こっちで渡しといてやるから，さあ，名前言った言った。

（53）の threshold thing は新郎が新婦を抱えて玄関を入るという風習を指すと考えられる。話し手はこの行為を多くの新婚夫婦と同様に喜んでしているのであるが，Jesse に Hey, lovebirds. Get a cage と言われたことにより照れが生じている（実際，照れ笑いを浮かべているように見える）。そこで，この行為を指すのに X thing 構文を用いることによって，この行為を大して良いものと思っていないかのように見せかけているのである。いわば「照れ隠し用法」である。（54）の performance thing は演奏会を指すと解釈できる。この演奏会は，気になる女の子とペアを組むということもあって，クラスの他のメンバーたちや教師と同様に話し手（Luke）も楽しみにしており，重要なイベントだと思っている。しかし，この話し手は日頃から「ワル」のキャラクターで通っており，また聞き手が気になる女子であるということもあって，素直に演奏会への意気込みを見せるわけにもいかないという微妙な立場に立たされている。そこで，X thing 構文を使って，自分は周囲の人たちとは違って演奏会に対して熱い思いを抱いていないように見せかけているのである。これは「照れ隠し用法」とも「かっこつけ用法」とも呼べるだろう。（55）の tiebreaker thing の指示対象は tiebreaker の指示対象と同じで「優勝決定戦」であると考えられる。優勝決定戦は話し手含めレース関係者，レースファンの全員が重要なイベントであり一

大事であると考えていると思われる。しかし，話し手はここで X thing 構文を用いることで，優勝決定戦をそこまで大騒ぎするようなことではないかのように見せている。これはレースを扱うベテランらしい雰囲気を醸し出すための「かっこつけ用法」と言えると思われる。

5.3. X thing 構文には常に遠化が関わっているか

5 節の最後に，筆者は X thing 構文には常に（見せかけの）遠化が関わっていると主張しているわけではないということを確認しておきたい。5 節で定義した意味での遠化がかかわっているとは言えない例が確かに存在するのである。たとえば以下のようなものである。

（56）［**状況説明**］ゲームの解説係が curse「呪い」に言及したあと話が逸れる。しばらくして，解説を聞いていたゲーム参加者が次のように言う。

Can we go back to the … **curse thing**?　（映画 *Jumanji: Welcome to the Jungle*）
話を戻せないかな，その…呪いの話に。

（57）［**状況説明**］PTA の会合の最中に Danny が手を挙げる。なお，この会合の最初に会長の Carruthers が “First on the agenda is the upcoming elections. I will, as always, be happy to return as your president.”「最初の議題は今度の選挙のことです。いつも通り喜んで再度会長をお引き受けします」と発言している。

Carruthers:　What is it now, Mr. Tanner?
Danny:　I’d just like to get back to that **election thing**. I mean, what automatically makes you president again?（*Full House*, Season 7, Episode 23）
Carruthers:　Tanner さん，今度は何ですか。
Danny:　さっきおっしゃっていた選挙の話に戻ってしまうんですが。あの，どうして自動的に Carruthers さんが PTA 会長に再選ということになるんですか。

（58）［**状況説明**］Leonard が Howard Wolowitz 宅を訪ね，ドアのチャイムを鳴らすと，Howard と母親の会話が聞こえてくる。■の印以下はドアを開けた Howard と Leonard の会話である。

Mrs. Wolowitz:　Howard, get the door!
Howard Wolowitz:　Why can't *you* get it?
Mrs. Wolowitz:　You know I'm doing a bowel cleanse for my colonoscopy. I'm like an upside-down volcano here. ■
Howard Wolowitz:　Oh, hey, I hope you didn't hear that.
Leonard:　The **volcano thing**? No.
（*The Big Bang Theory*, Season 4, Episode 5）
Mrs. Wolowitz:　Howard，出ておくれ！
Howard Wolowitz:　母ちゃんが出ればいいだろ！
Mrs. Wolowitz:　内視鏡検査の準備で大腸きれいにしてるところだって言ってんだろうが。あたしゃ今，上下逆さまの火山みたいになってんだよ。■
Howard Wolowitz:　あ，おっす，今の聞こえてないといいんだけど。
Leonard:　火山の話？　聞こえてないよ。

これらの例における X thing 構文は，発話時よりも少し前に他者によってなされた発話（の話題・内容）を指すのに用いられていると考えられる。ここには他者の態度を話し手が共有していないという示唆は特に感じられない。こうした例における X thing 構文の使用が遠化に動機づけられていないならば，何に動機づけられているのか。次節ではこの問いに対する筆者の答えを提示する。

6．X thing 構文の引用用法

本節では X thing 構文が引用のために用いられることがあることを指摘する。この用法を引用用法と呼ぶことにする。以下では，まず X thing 構文とは独立に引用という概念を定義したうえで，Jesperson が唱えた引用実詞という概念を

導入する。その後，X thing 構文は引用用法を持つこと，および，X スロットを埋める要素が一見名詞に見えないものは引用実詞として機能していることを論じる。

6.1. 引用とは何か

本稿では，引用という行為を大まかには（59a）のように，正確には（59b）のように定義する[4)]。（59a）の方は山口（2009: 1）の「引用とは，他人のことばをそれと分かるように自分のことばに取り込む行為である」という記述と実質的に同じであるが，山口は（59b）に相当する詳細化は提示していない。

（59）　a. 他者の言葉をあくまで他者の言葉であると示しながら自分の言葉に取り込むこと

b. 他者（話し手以外の個人，話し手以外の大小さまざまな規模の集団，または過去の話し手）が実際に（または心の中で）発した言葉（の全体または一部）をあくまで他者の言葉であると（場合によっては引用符を利用することで）示しながら，（場合によっては多少の変更を伴いつつ）自分の言葉に取り込むこと

（59b）の詳細化の意味を以下で具体的に述べる。

第一に，（59a）の「他者」を（59b）で「他者（話し手以外の個人，話し手以外の大小さまざまな規模の集団，または過去の話し手）」と詳細化している点に注目しよう。まず，過去の話し手を含めているのは，「私は先週あなたに X と言ったが，あれは言いすぎだった」のように話し手自身の過去の発話に言及するケースを「引用」と呼ばないのは直感に反するからである。次に，大小さまざまな規模の人間集団を含めると明示しているのは，以下の（60）（a から c に向かって元の発話をした「他者」集団の規模が大きくなっていく）のいずれの文も引用と呼びうるという直感が少なくとも筆者にはあるからである。

（60）　a. **My parents** often say, “Efforts pay off.”

両親がよく言うんだよね，「努力は裏切らない」って。

b. **My friends** often say, “Efforts pay off.”

友だちみんなよく言うんだよね，「努力は裏切らない」って。

c. **They** often say, “Efforts pay off.”

よく言うよね，「努力は裏切らない」って。

ただし，「他者」が集団として大きくなればなるほど，その「他者」の姿や，その「他者」が発言・思考をしているところが，引用者にとって具体的に想像しにくくなる[5]。となると，ある行為が引用行為であると言えるかどうかは程度問題だということになる。「いかにも引用らしい引用」や「そこまで引用らしくない引用」といったものの存在を認めることになる。これは（以下でも見るように）筆者が引用の定義を提示するにあたって強調したい点である。

第二に，（59a）の「他者の言葉」を（59b）では「他者［…］が実際に（または心の中で）発した言葉」としているのは，単に「言葉」とするだけでは実際の発話のみが想定されているように見えてしまう可能性があるからである。言うまでもなく，「彼はあのとき X と思ったのだ」のようなケースの X も話し手によって「引用」されたものとみなすべきである。ただし，多くの場合，話し手から見て他者の思考は「こう思っているように見える」という形で推測し，決めつけるしかないものである。こうして決めつけられた他者の思考を自分の言葉に取り込む行為もここでは「引用」に含めたい。たとえば次の例の「マジかよ」の部分は本稿の立場では引用された表現だということになる[6]。

（61）　あいつ，あの時「マジかよ」みたいな顔してたんだよね。

第三に，（59b）は「他者［…］が［…］発した文（の全体または一部）」という言い方を採用し，必ずしも文の全体を引用しなくても引用とみなしうることを明示していることに注目されたい。たとえば以下の作例の「誠に遺憾」の部分は，他者が過去に発した「今回の件は誠に遺憾であります」という文の一部として解釈できるが，「これは一部にすぎないから引用とは呼ばない」という

のはいかにも直感に反する。

（62）　もし本当に「誠に遺憾」ならば，あんなに冷静には喋れないはずだ。

ここで重要なのは，用いる部分が少なくなればなるほど，もともとその他者が発したものであるかどうかが明確でなくなっていき，それによりその部分を用いる行為を引用行為と呼べる度合いが下がっていくことになる，ということである。ある行為が引用行為であると言えるかどうかはやはり程度問題だということになる。

第四に，（59b）は引用の際に多少の変更が加えられる場合があることを認めており，それでも引用と呼びうると明示していることに注意してほしい。たとえば以下の例では，Kimmy の元のスローガンでは動詞 glue が原形を取っているが，Steve の引用では gluing と動名詞形を取っている。このわずかな変更がある限り引用行為ではないと考えるのは，またしても直感に反するだろう。

（63）　［**状況説明**］Kimmy の考えた “Stay in school. Don’t be an idiot. Don’t drop out, even if you have to glue your butt to a chair.”（学校をやめるな。おバカになるな。ドロップアウトするな。たとえケツを接着剤で椅子にくっつけてでも）というスローガンを気に入ったという Steve のセリフ：
I like that **gluing-your-butt** part.　（*Full House*, Season 6, Episode 6）
「ケツを接着剤で」っていう部分，良いと思う。

ただし，変更の程度が大きくなるほど（他者の元の発話と一致する度合いが下がるほど），その行為を引用行為と呼べる度合いが下がっていくことになる。筆者はここでも引用行為の程度性を認めている。

6.2. 引用実詞

本節 6.2 では引用実詞という概念を導入する。Jespersen（1914）が指摘しているように，ある言語表現が，引用された結果，引用元のテクストにおいて名詞

として扱われていたかどうかにかかわらず，引用先で名詞として扱われることがある。その引用後の名詞のことを引用実詞（quotation substantive）という。

次の実例の太字部分はすべて引用実詞の例である。(64)–(66) では形容詞や動詞であるはずのものが引用実詞となって名詞化し，文の主語の位置に現れることが可能になっている。(67) と (68) では，regular，handsome という形容詞が引用されることで名詞化し，他動詞 like の目的語の位置や前置詞 about の補部の位置に現れることが可能になっている。(69) の I want it right now は本来なら節または文であるはずだが，ここでは引用実詞として機能し，[your N] の N スロットを埋めている。

(64)　Nancy:　We're just totally screwed, right?
　　Alex:　Yeah. I would say **screwed** is apt.　(映画 *Duplex*)
　　Nancy:　私たち，完全に終わったわね。
　　Alex:　うん，「終わった」ってのは的確な言い方だろうね。

(65)　Paxton:　Sure, uh, maybe … after school today at my place?
　　Devi:　To … today?
　　Paxton:　Yeah.
　　Devi:　That's super-soon, which is great. **Soon** is great.
　　(*Never Have I Ever*, Season 1, Episode 2)
　　Paxton:　オッケー，それじゃ，そうだな…今日の放課後，俺の家ってのはどう。
　　Devi:　きょ…今日？
　　Paxton:　うん。
　　Devi:　それ超急だね。だからすごく良い。急なのは良いこと。

(66)　[**状況説明**] Jack はトイレに入りたくて仕方がないが，あいにく妻 Joy が入っている。
　　Jack:　Hon?
　　Joy:　Yeah.

Jack: Uh … if I could just get in there for a sec …
Joy: I'm almost done. I'll be right out.
Jack: "**Be right out**" is not really gonna work. Like … uh … be right out right now. （映画 *What Happens in Vegas*）
Jack: ハニー？
Joy: なあに。
Jack: あのさ…ちょっと入ってもいいかな…
Joy: あとちょっと。すぐ出る。
Jack: 「すぐ出る」じゃダメそうっていうか…その…今すぐこの瞬間に出てほしいっていうか…

（67） I'm not that regular of a person, and they really they like **regular**.
（映画 *Something's Gotta Give*）
私，そんなに普通の人間じゃないの。そんで同世代の男ってのは本当に，普通が大好きなのよ。

（68） Danny: You heard her. She thinks I'm the smartest, most handsome dad in the whole universe.
Jesse: She didn't say anything about **handsome**.
Danny: Well, it goes without saying.
（*Full House*, Season 3, Episode 11）
Danny: 聞いてただろ。Stephanie は僕のことを宇宙で一番頭が良くて，ハンサムなパパだと思っているのさ。
Jesse: ハンサムとは言ってなかっただろ。
Danny: いやまあそれは言うまでもないからだろ。

（69） I don't like you. I don't like any of you. Your generation with your Vegas and your Internet and your "**I want it right now**." （映画 *What Happens in Vegas*）
君たちは気に食わない。どいつもこいつも気に食わない。君たちの世代ときたら，やれベガスだ，やれインターネットだ，やれ「今すぐ欲しい」だのと騒ぎおって。

ただし（67）と（69）の太字部分が本稿の立場では「引用」表現に該当するという点には注意が必要かもしれない。ここでは，特定の個人たる他者が regular や I want it right now と言ったのを引用しているというよりも，話し手が思うところの典型的・一般的な同世代の男たちや若者たち――不特定多数の他者集団――が I like regular people とか I want it right now とか言っており，話し手はその言葉を引用しているのである。本稿がこうした大きな人間集団の言葉を自分の言葉に取り込む行為を「引用」行為に含めることについては，6.1 で確認した通りである。

また，これも 6.1 で述べたことだが，本稿の立場では他者の心の中の言葉も「引用」行為の対象となりうる。引用行為をこのように捉えた場合，以下の実例の太字部分も引用表現としてカウントされることになる。

（70）　a kind of **can't-believe-my-luck** expression　（Kazuo Ishiguro, *Never Let Me Go*）
自分の幸運が信じられませんというような表情

（71）　She gave me a look that went on a second or two longer than was normal—her old **if-only-I-could-swat-you** look —then left.（Kazuo Ishiguro, "Malvern Hills"）
彼女は私を 2，3 秒余計に長く見つめ――昔ながらの「ああ，お前に平手打ちを食らわすことができたらなあ」という目だ――そして去っていった。

（72）　［**状況説明**］Jesse がヘルメットなしでバスケットボールに挑戦したところ，すぐにボールを頭にぶつけてしまった。

Jesse:　I told you I needed that helmet. What's with that look?
Joey:　What look?
Jesse:　That, that, that, that "**he bites**" look.
（*Full House*, Season 8, Episode 16）
Jesse:　だからヘルメットないとダメだって言っただろうがよ。なんだその顔は。
Joey:　どの顔のこと？
Jesse:　それそれ，その「ダメなやつだなあ」って顔だよ。

この太字部分を引用された表現とみなした場合，この太字部分は形容詞ではなく引用実詞であり名詞であると解釈することができる。こう解釈できると何が良いのかというと，上の（70）–（72）のストレス・パターンに説明を与えることができるようになるのである。これらの例では，太字部分が何か別の候補と対比をなしている文脈ではないにもかかわらず，太字部分にストレスを置いて読むのが自然な読み方である。この言語事実は太字部分を形容詞要素とみなすと説明するのが難しい。というのも，形容詞＋名詞という組み合わせでは形容詞部分が他の候補と対比をなしているのでない限り，名詞の方にストレスを置いて読むのが一般的だからである（e.g., *That's a good BOOK*「それ良い本ですよね」）。これに対し，太字部分を名詞として解釈した場合，名詞＋名詞の組み合わせは一つ目の名詞にストレスを置いて読むのが一般的（な読み方の 1 つ）である（e.g., *That's a MARRIAGE book*「それ結婚の本ですよね」）ため，太字部分にストレスが置かれるという事実を（少なくとも太字部分を形容詞と捉えた場合よりも）自然な形で説明できる[7]。このことは，上の例の太字部分を引用実詞と解釈することの妥当性――ひいては太字部分を（実際に発話された言葉ではないにもかかわらず）「引用」された表現とみなすことの妥当性――を示していると言える。

6.3. X thing 構文の引用用法

本節 6.3 では，X thing 構文の X スロットを埋める要素が他者の言葉を引用したものであるケースが多く存在すること，X thing 構文は引用用法とでも呼ぶべき用法を持つことを指摘する。まずは本来形容詞など名詞以外の品詞であるはずの要素が X スロットにおいて引用実詞として用いられ，名詞化するケースを観察する。そのうえで，X スロットが純然たる名詞で埋められている場合であっても，X が他者の言葉からの引用である可能性があることを述べる。

筆者の知る限り，X thing 構文（に概ね相当するもの）を引用との関連から分析した研究は本稿を除いて他にはまだない。しかし，実は 3.2 で概説した Salmon（2015）の脚注に，引用との関連をうかがわせる以下の例があげられている。この例は Salmon（2015）の査読者が指摘した例である。理解のための背景情報

として，(i) ジョゼフィーヌはナポレオンの妻であるということ，および (ii) ナポレオンは自らの低身長を気にしていたとされていることを知っておく必要がある。

(73)　[Josephine to Napoleon]: I don't mind the **short thing**, but I do wish you'd stop sticking your hand under your shirt.　(Salmon 2015: 454)
[ジョゼフィーヌからナポレオンへの発話]：チビだとかなんとかそんなのはいいのよ。だけどねえ，シャツの中に手を突っ込むのだけは勘弁してちょうだい。

本来，short は形容詞なので，short thing のストレスは short ではなく thing の方に置かれるはずであるが，(73) の short thing の自然な読み方は short THING ではなく SHORT thing になる。したがって Salmon の言うところの TNT 構文の事例とみなすのが自然であり，short が名詞化していると考えることになる。しかし Salmon は，どうして short が名詞化して TNT 構文に参与することができるのか，その理由を説明していない。

筆者はこの short は引用実詞として機能しておりその意味で名詞化しているのだと考える。まず，ナポレオンの頭の中では "Oh, I'm short. I'm short. How come I'm so short?" のような悩みが渦巻いている。妻ジョゼフィーヌはこのナポレオンという他者の思考に含まれている形容詞 short を引用する。この本来的には形容詞であるはずの short が引用により引用実詞となり，名詞に変わる。これにより short thing は［形容詞＋名詞］の事例ではなく［名詞＋名詞］の事例――ひいては TNT 構文，X thing 構文の事例――となる。ストレス・パターンはこれに連動して short THING ではなく SHORT thing となる。

筆者が出会った引用実詞タイプの X thing 構文の実例には以下のようなものがある。

(74)　［**状況説明**］聞き手 (Kevin) は，新聞ではロマンチックな結婚関連コラムを書いているのに，実際の会話では皮肉な発言ばかりする。その

ため，以前話し手（Jane）に Do you actually believe in love and marriage and pretend to be a cynic, or are you actually a cynic who knows how to spin romantic crap for girls like me?「あんたって本当は愛と結婚を素晴らしいものと思っているけど皮肉屋のふりをしてるの？　それとも本当に皮肉屋で，私みたいな女が気に入るくだらない恋愛話をでっち上げるのが得意ってだけなの？」と聞かれたことがある。この質問に対して Kevin は the second one, the spinning crap one「後者。くだらない話でっち上げるって方」と答えている。以下は Jane のセリフである。

I think you should just admit that you're a big softie, that this whole **cynical thing** is just an act so that you can seem wounded, mysterious and sexy.

（映画 *27 Dresses*）

認めちゃったら楽になるんじゃないかしら？　実は超おセンチだって。あんたのその「俺は皮肉屋なんでね」みたいなのも，傷を負った不思議でセクシーな男に見せるための演技だったんだって。

(75)　［**状況説明**］大人たちに「おしゃべりだ」と言われた Stephanie は，自分はおしゃべりではないということを示すために，なるべく声を出さずに生活している。学校の廊下を歩いているときに父親 Danny と姉 D.J. とすれ違い，"How's it going?" と聞かれたときも，何も言わず笑顔でサムズアップだけして見せて去っていく。その直後に Danny が：

You think she's carrying this **"I'm not a chatterbox" thing** too far?

（*Full House*, Season 2, Episode 17）

Stephanie の「私はおしゃべりじゃありません」キャンペーン，行き過ぎてないか？

(74) の例では cynical thing が cynical THING ではなく CYNICAL thing と発音されているが，このことも cynical が引用された要素であると考えれば説明がつく。この時点よりも前に Kevin という他者が発話した the second one, the spinning crap one は，それよりもさらに前に Jane が言った a cynic who knows how to spin romantic crap for girls like me を指しているので，実質的に Kevin は I'm a cynic who

knows …と発話したに等しい。この中に含まれている cynic という言葉が形を変えて cynical として引用され（cf.（63）），引用実詞となり名詞化すると考えれば，CYNICAL thing という読み方に説明を与えることができる。（75）に関しては I'm not a chatterbox が引用実詞であるのは明らかだろう。

ここまで見てきた例では X スロットを埋める要素が形容詞など名詞以外の要素であったため，引用実詞という概念を介して引用との関連を論じることができた。それでは X thing の X が純然たる名詞である場合には引用が関与しなくなるのだろうか。それはいかにもおかしな想定である。実は，5.3 節で分析を留保していた（56）–（58）（以下（76）–（78）として部分的に再掲）は，X が純然たる名詞であるケースだが，引用との関連で適切に捉えることができる。

（76）　Can we go back to the … **curse thing**?　（Cf.（56））

（77）　I'd just like to get back to that **election thing**. I mean, what automatically makes you president again?　（Cf.（57））

（78）　Howard Wolowitz:　Oh, hey, I hope you didn't hear that.
　　Leonard:　The **volcano thing**? No.　（Cf.（58））

5.3 では，これらの例における X thing 構文の使用が遠化に動機づけられていると考えられないことが問題となった。しかし，引用の観点からは自然な説明を与えることができる。（76）と（77）の話し手はそれぞれ聞き手が発話時よりも前に発した言葉のなかにある curse と election という語を引用しているし，（78）の話し手は聞き手の母親が発した I'm like an upside-down volcano here の一部である volcano を引用している。したがって，X thing 構文には引用を動機とする用法――引用用法――が存在するのだと考えれば，引用実詞タイプと同様のしかたで（76）–（78）を説明することができる。

もしこの発想が正しいとすれば，X thing 構文には遠化用法と引用用法という（少なくとも）2 つの用法が存在することになる。この 2 つの用法に何か関係はあるだろうか。もしも関係が何もないとすると「この発想が正しいとすれば」の部分があやしくなってくる。この問題については次節で論じることにする。

7．遠化用法と引用用法の関係

筆者の観察する限り，X thing 構文の遠化用法と引用用法はかなりの程度重なり合うものである。これは，引用という行為の性質を考えれば，十分に予測できることである。そもそも人が他者の言葉を引用する理由には，自分の主張に箔をつけたいからなど色々なものがあるが，そのうちの一つに「他者の態度を共有していないことを示したいから」というものがある（実際，引用研究の代表例である Clark and Gregg（1990）では，distancing の定義が明確に示されていないものの，引用行為の動機に distancing があることが指摘されている）。他者の言葉をあくまで他者の言葉として引用し「（現在の）私の言葉ではありません」と示すことにより，自分は他者ほどこれこれに熱中していない，取り憑かれていない，他者ほどこれこれを身近に感じていない，好き好んでいない，重要視していないなどといったことを暗に伝えるのである。

X thing 構文の遠化用法と引用用法はかなりの程度重なり合うという予測は，実例を観察することによって確認することができる。遠化用法の事例とも引用用法の事例とも言えるものが多く見つかるのである。たとえば 5 節で遠化用法の事例として提示した例のうち，以下に再掲したものは明らかに引用用法の事例であるとも解釈できる。

（79）　I've decided to get over that whole **"you saw me naked" thing**.　（Cf.（33））

（80）　Haha yeah I never got the whole **"foil-wrapped" thing**… like, just boil the potato if you want it all soft ?!　（Cf.（36））

（81）　She's not so sure about this **rain thing**.　（Cf.（14））

たとえば（79）では（過去の自分という）他者の言葉である you saw me naked をあくまで他者の言葉として引用することによって，（現在の）自分はそこまで悩んでいない，騒ぎ立てるつもりはないということを伝えている。（80）では（世間の人々という）他者が言っている foil-wrapped baked potatoes are the best などの言葉の一部を引用することにより，自分はそのような調理を他者ほど良いと

思っていないことを伝えている。(81) では（人間たちという）他者が身近に感じている雨というものを自分（犬）は身近に感じていないということを示すために，（人間たちという）他者の rain という言葉を引用している（より正確には，犬にもし言葉が使えたら犬がしそうな言葉遣いを飼い主が想像して，それを再現して this rain thing と言っている）のである。

6.1 節で強調した通り，ある行為が引用行為であるかどうかは程度問題であるから，それに連動して，5 節で遠化用法の事例として提示した例が引用用法の事例であるかどうかも程度問題である。たとえば以下の例は引用がかかわっているといないとも言い切れない中間的な例である。

(82)　'You don't honestly want to do this **microphone thing**, do you?'　(Cf. (3))

この microphone は，妻が過去に発した言葉（正確には All we've got to do is put a microphone in their room）の一部として引用されたものである可能性がある。もちろん，そう考えなければいけないという理由もないわけであるが，このように中間的な引用性を持っているケースも含めると，遠化用法と引用用法の重なりは相当大きなものとなる。

ただし，遠化用法の事例のすべてがある程度の引用性を持つわけではない。たとえば以下の例の gun-point を引用された表現と考えるのは無理があるだろう。ピストルを向けるジェスチャーをかっこいいと思ってやっている人が，そのジェスチャー中に gun-point という言葉を口に出して，または心の中で，言っているとは考えにくい。

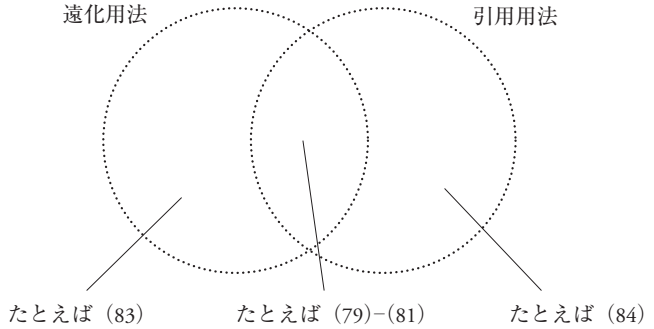
(83)　You know, whenever they recognize somebody, they always do that phony **gun-point thing**. It's like: [GUN POINTING GESTURE]　(Cf. (44))

逆に引用用法であれば遠化がかかわっていると言えるかというと，それも否である。既に 5.3 と 6.3 で見たように，引用用法ではあるが遠化用法ではない事例が存在する。以下に一例を再掲する。

（84）　Can we go back to the … **curse thing**?　　（Cf.（56））

以上のことを踏まえると，X thing 構文の遠化用法と引用用法の関係は図 1 のように図示できる。
なお，2 つの円が点線で描かれているのは，遠化という概念も引用という概念も厳密に規定できるものではなく，程度問題であるということを示している。

図 1. X thing 構文の遠化用法と引用用法の関係



8．結語

本稿では，X thing 構文には慣習化した機能として引用機能と心的態度の非共有を示す機能があることを主張した。これで X thing 構文の全てが解明されたわけではないが，実例のうちのかなりの割合がこの 2 つの機能の片方または両方によって説明される。今後は，（1）にある… is an X thing のパターンなどを含め，引用機能と心的態度の非共有を示す機能では説明のつかない用法も取り込み，X thing 構文のより包括的な記述を目指したい。また，従来の言語学および哲学における引用研究との関連を整理することも必要だろう。

注

1）Dallas Cowboys はアメリカンフットボールのチーム名である。

2）なお，gun(-)point という名詞はもっぱら at gunpoint「銃を突きつけられた状態で」というフレーズで使うものであり，このフレーズ内の gun(-)point の部分が厳密には何を指しているのか（銃口なのか，銃口の前の位置なのか，銃を向けられている状態なのかなど）ははっきりしない。『フルハウス』の例でも，gunpoint thing の指示対象ははっきりしているが，gunpoint の部分が何を指しているのかは分からない。

3）この Get a cage は人前でイチャイチャしている人たちに対して言う Get a room「そういうのは自分の部屋でやれ」という慣習的な言い回しをもじったものと思われる。

4）この発想と，Clark and Gerrig（1990）や Recanati（2001）が提示する「demonstration としての quotation」という発想の関係についてはまだ整理できていない。

5）（61c）の英文を日本語に訳す際に，「人々」や「世間の人」というように他者集団を明示すると少し不自然な感じを覚える。これはひょっとすると，輪郭のぼやけた他者をはっきりと言い表そうとすることの矛盾の現れかもしれない。英語の方は They と主語が明示されているがこの they の指示のあり方もまた漠然としている。

6）引用の be like …（e.g., *He **was like,** "Oh, my goodness."*）に関して Blyth et al.（1990: 222）も同様の発想を示唆している。

7）名詞＋名詞の組み合わせにおけるストレスの位置については Giegerich（2004）などを参照。

参考文献

Blyth, Carl, Sigrid Recktenwald, and Jenny Wang（1990）I'm like, "Say What ?! ": A new quotative in American oral narrative. *American Speech*, 65: 215–27.

Clark, Herbert H. and Richard J. Gerrig（1990）Quotations as demonstrations. *Language* 66（4）: 764-805.

Hohenhaus, Peter（2000）An overlooked type of word-formation: Dummy compounds in German and English. In: C. Hall, D. Rock and A. Fiddler（eds.）*German studies towards the millennium: Selected papers from the conference of university teachers of German, University of Keele, September 1999（Cutg Proceedings 2）*, 241-260. Oxford: Peter Lang.

Giegerich, Heinz J.（2004）Compound or phrase? English noun-plus-noun constructions and the stress criterion. *English language and linguistics* 8（1）: 1-24.

Jespersen, Otto（1914）*A Modern English Grammar, on Historical Principles, Part II, Syntax, First*

Volume. Allen and Unwin, London.

Langacker, Ronald W.（1993）Reference-point constructions. *Cognitive linguistics* 4: 1-38.

Langacker, Ronald W.（2008）*Cognitive grammar: A basic introduction*. Oxford: Oxford University Press.

Langacker, Ronald W.（2009）*Investigations in cognitive grammar*. Berlin & New York: Mouton de Gruyter.

Salmon, William（2015）Conversational implicatures, reference point constructions, and *that noun thing*. *Linguistics* 53(3): 443-477.

Taylor, John R.（2012）*The mental corpus: How language is represented in the mind.* Oxford: Oxford University Press.

Recanati, François（2001）Open quotation. *Mind* 110: 637-687.

山口治彦（2009）『明晰な引用，しなやかな引用：話法の日英対照研究』くろしお出版.